

村木厚子・元厚生労働省局長



9月10日、郵便不正事件で逮捕・起訴された厚生労働省元局長・村木厚子被告(54)に、いよいよ判決が下される。村木氏に「無罪」が言い渡されるのは確定的な情勢だが、ここにきて白を黒にしてきた大阪地検特捜部が、ある「審査会」の存在に戦々恐々としているというのだ。検察の「罪」に誰が「罰」を与えるのか。

いよいよ無罪へ

村木氏の共犯として逮捕・起訴された倉沢邦夫被告（74年一審・一部無罪、検察側控訴）は本誌の取材に、こう証言している。

「取り調べを担当した副検事は捜査の狙いをこう言つてました。『東京地検は小沢一郎の陸山会事件、大阪は石井一や。石井は民主党の副代表で超大物やからな。郵便法違反なんて罰金刑やからかまへんねん』

この発言からも検察が「組織ぐるみ」で、政権交代目前だった民主党に狙いをつけていたことがうかがえる。西松建設事件で小沢氏を、郵便不正事件では石井氏を。こんな流れの中で「村木事件」は起きた。

村木氏の法廷では、出廷した証人らが大阪地検特捜部の非道な捜査手法を次々と暴露した。それは、検事たちが強引な手口で「検察ストーリー」に都合のいい供述調書を作成するというのだ。

「無罪判決」を待つばかりとなつた今、ある大阪地檢

幹部はこんな心配を口にした。
「今日はヤバい」、そんな声が内部からも出ている。
審査会で検事失格の烙印を押されたら、こんな不名誉なことはありまへんわ」
この幹部が気にかけているのは、「検察官適格審査会」だ。
資金管理団体「陸山会」の土地取引事件をめぐって、小沢氏に「起訴相当」の議

とよく似た名前だが、役割はまったく違う。

検察庁法第23条により定められた、検事の職務への適格性をチェックする組織で、弁護士なら懲戒制度、裁判官なら国会内に設置されている裁判官訴追委員会や弾劾裁判所に相当するものだ。3年に一度、すべての検察官に対して行われる定期審査のほか、法務大臣からの請求があつた際の臨時審査や、国民から請求があつた場合、審査を開始するかどうかを決定する。

前出の大坂地検幹部はこ

大阪地裁に向かう村木厚子氏。千葉景子法相(上)はまた動かないのか。起訴当時の検事総長である樋渡利秋氏(中)、大林宏現検事総長(下)

う嘆く

「法廷でここまで、捜査のいい加減さが暴露されたことはなかった。もし、審査会に請求があれば、村木さんの無罪で世論が沸き返っていることもあり、検事の罷免もありうると、ひやひやしているんですわ」

しかし、この審査会、知名度は低く、これまでほとんど機能してこなかつた。

2003年5月23日の衆議院法務委員会で、この制度について質問をした、当時社民党衆院議員だった坂展人氏はこう話す。

〔昭和23（1948）年の
設置以来、罷免されたのは、
1992年に行方不明にな
った副検事一人だけ。それ
も、副検事が長期間失踪し
ていたからというものです。
審査会では、強引な捜査や
でつちあげ捜査などで検事
が処分されたことはないん
ですよ」

審査委員のメンバーは、衆院議員4人、参院議員2人、日本弁護士連合会会長、日本学士院会員、学識経験者など11人。審査会に参加したことのある議員はこう証言する。

「橋本龍太郎首相時代に決定された省庁再編のどさくさにまぎれて、総務庁から法務省に事務局が移動したため、身内が身内を裁いているようなものになつていい。これで公正な判断ができるとは思えない」

**暴力団と「取引」
証言台で偽証!?**

者として名前を連ねている弁護士の原田明夫氏は元検事総長。ちなみに原田氏は検事総長時代、元大阪高検公安部部長の三井環氏の検察裏金告発に対し、口封じ逮捕を許した裏金隠蔽の中心人物でもある。

された厚労省の元担当係長上村勉被告(40)の公判にも、証人として出廷している。6月30日の上村被告の公判で、国井検事は、公判担当検事からこんな質問を受けている。

「無罪を確信した村木さんのあの一言」

元大阪市助役
大平光代弁護士が語る

た村木さんの

あの一言

算が「数万円といふから
その「やる気のなさ」がう
かがえる。これでまとま
機能するはずがない。

便宜を图ると、東京新聞
がスクープした。しかし、
国井検事は証言台で、
「報道は事実ではない」

村木厚子さんに初めてお会いしたのは2004年、私が大阪市の助役に就任した直後のことでした。

など中央省庁との交渉も多
い。そこで、就任すると、ま
ず各省庁の担当者のところに
あいさつに行くんですね。そ
のなかのお一人が村木さんで
した。

障害品保健福祉部で企画課長をされていました。その年の秋、大阪市職員へのヤミ退職金や、生命共済の全額公費負担など巨額の市職員への厚遇問題が発覚し、メディアからものすごい大阪市バッシングが始まりました私は改革委員会の委員長と

本誌はこれまで村木氏の事件の捜査にあたつた検事たちのひどい行状を報じてきた。その中でも特に問題なのが、村木氏や多くの関係者を調べた国井弘樹検事(35)だ。

国井検事は、村木氏の公判のほか、共犯として逮捕

「報道したのは1社だけで
すから」
と説明した。東京新聞し
か報じず、他メディアが報
じなかつたから「事実でな
い」というのだ。しかし、
実際には、東京新聞のあと
として、その根拠の一



大阪市は生活保護の受給率がとても高いですが、本当に必要な人だけでなく、不正に受給している人も多いんです。私が、「これは何とかしなきゃいけないと思っています」

とお話ししたら、

「生活保護というのは本当に必要な人に届かなければならぬ」とお話しした。

して懸念に改革に取り組みましたが、メディアなどからの批判の矢面に立たされ、さらに改革に反対する内部からも強い反発を受け、非常につらい思いをしました。

そういう状況になると、中央省庁の幹部の方々のなかには、面倒に巻き込まれたくない、と距離を置く人が多くなります。

でも、村木さんだけは、「頑張ってね。しんどいと思うけど、今あなたが改革を頑張ることが将来の子どもたちの笑顔につながると思うから。応援します」と声をかけてくださいました。

村木さんは覚えていたはずで知ったんです。

そんなとき、村木さんが逮捕されたということをニュースで知ったんです。

まことに、村木さんは「どうやらないかもしないけど、四面楚歌で苦しかった私は、その一言が本当にありがたかった。以来、相談をさせていただくなりました。

のときから村木さんの無実を確信していました。

そこで、共通の友人である

社会福祉法人「プロップ・ステーション」の竹中ナミさんと「村木厚子さんの完全な名前回復を願う」というインターネットサイトを立ち上げた

んです。

私は14歳のとき、剖腹自殺をはかったことがあります。原因はいじめ。いたずら電話をかけた犯人だ、とぬれぎぬい

といふことをおっしゃっていた。曲がったことが嫌いなんやろうな、高いところを見て仕事をされていはるんやな、と感じましたね。私自身は05年に助役を辞任しましたが、

くら「私はやつてない」と言つても信じてもらえなかつた。村木さんも大阪地検の取り調べに、いくら「知らない」と言つても聞いてもらえないがつた。それがどれだけつらいた。それがどれだけつらいた。それがあらわにする。

河野被告の友人で、村木氏の事件で国井検事から事情聴取を受け、虚偽の内容の供述調書に署名をさせられた木村英雄氏はこう怒りをあらわにする。

「国井さんは、私が話してもいいない内容の調書をつくり署名を追つてきた。抗議すると『これでいいんだ』と机をたたかれた。これによばれる検察。村木事件は、検事たちがわざわざムダに税金を使って、でつちあげたものだ。誰がこの『検察の罪』を彈劾するのか。

本誌・今西憲之、大貫聰子

を追う形で、朝日新聞も社会面でこの事件を大きく扱っている。

国井検事の証言は司法を冒涙する「偽証」である。

さらに、国井検事は、村木氏の事件でも、共犯として逮捕された河野克史被告

(69)一審は有罪、現在控訴中)に対し、強引な取り調べをしたとして、抗議の内容証明を送られている。

河野被告の友人で、村木氏の事件で国井検事から事情聴取を受け、虚偽の内容の供述調書に署名をさせられた木村英雄氏はこう怒りをあらわにする。

「国井さんは、私が話してもいいない内容の調書をつくり署名を追つてきた。抗議すると『これでいいんだ』と机をたたかれた。これによばれる検察。村木事件は、検事たちがわざわざムダに税金を使って、でつちあげたものだ。誰がこの『検察の罪』を弾劾するのか。

本誌・今西憲之、大貫聰子

郎・名城大学教授はこう指摘する。

「検察には『検察官一体の原則』というものがあり、事件の重要性に応じて、各検事の判断は高検、最高検まで上げられ決裁されている。捜査の過ちの責任は、捜査を直接担当した検察官個人が問われるべきではなく、組織として取るべきです。」

「責任の所在なき役所」とよばれる検察。村木事件は、検事たちがわざわざムダに税金を使って、でつちあげたものだ。誰がこの『検察の罪』を弾劾するのか。

本誌・今西憲之、大貫聰子

